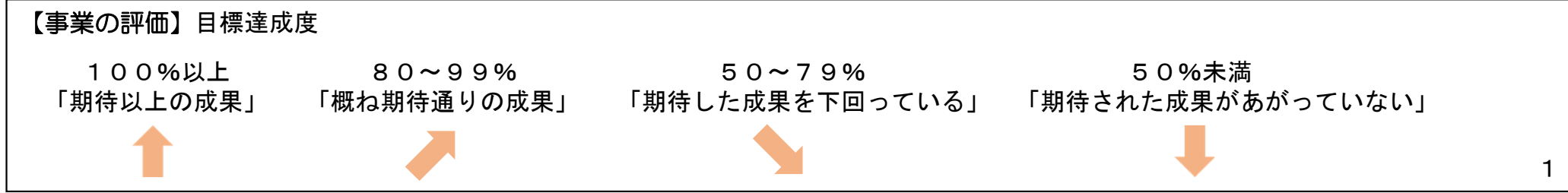


第2次茨城県文化振興計画アクションプランの概要

計画推進のための基本的施策

<p>1 人材の育成等 (1) 文化の担い手の育成及び確保 (2) 次世代を担う子どもたちの育成 (3) 文化に関する教育の充実</p> <p>2 文化の振興 (1) 芸術の振興 (2) 伝統文化の継承及び発展 (3) 生活文化等の振興 (4) 文化を活用した地域づくり (5) 文化交流の推進</p> <p>3 文化的資産の活用等 (1) 文化的資産の活用 (2) 文化財の保存等 (3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮</p>	<p>4 文化活動の充実 (1) 県民の文化活動の充実 (2) 高齢者、障害者等の文化活動の充実 (3) 青少年の文化活動の充実</p> <p>5 文化活動の支援体制の充実等 (1) 文化情報の収集及び提供 (2) 推進体制の整備 (3) 文化施設の機能の充実 (4) 地域における文化活動の支援 (5) 財政上の措置 (6) 顕彰</p>
---	--

【進行管理】 ① 毎年度、本計画に基づく事業の実施状況等を調査し、文化審議会において事業効果の検証等による評価を実施
 ② 県民に本計画の進捗状況や事業の評価結果等を公表（年次報告書による）
 ③ 評価結果等をフィードバックし、今後の事業改善等に反映



I 人材の育成

1 課題

- ・ 県民が質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実。
- ・ 担い手の高齢化や後継者不足。

2 施策

(1) 文化の担い手の育成及び確保【8事業】

- 茨城県芸術祭(P1)
芸術創作活動の成果を発表・展示する県最大級の芸術祭。
- 水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー (P2)
県内の高校生以上の楽器奏者に対しレッスンを実施。
- 文化芸術体験出前講座(P2)
学校や文化施設に音楽・美術・茶道・華道・能楽・食文化の講師を派遣。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成【5事業・再掲2】

- 歴史館魅力向上事業(P9)
企画力のある外部人材を活用し、歴史館の新しいコンセプト設計、展示会の開催、出版社との連携事業を実施。

(3) 文化に関する教育の充実【4事業・再掲3】

- 県高等学校総合文化祭開催(P10)
高校生による美術、音楽及び演劇の展示や発表。

3 主要KPI

① 県芸術祭の参加者数 (単位：人) 「概ね期待通りの成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	26,000	35,000	36,000	37,000
実績値	16,824	26,311	32,210		
達成率	—	101.2%	92.0%		

② 関連事業の参加者数 (単位：人) 「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888	13,799		
達成率	—	135.3%	106.1%		

4 評価等

①については、コロナ拡大防止経費を補助し、コロナ対策を講じた上で、継続して各催事を実施できるよう努めた。②については、これまで事業を実施したことがない県北地域での器楽セミナー（公開レッスン）の実施や文化芸術体験出前講座の実施校数の増加により、県内のより幅広い地域や場所での事業実施に努めた。

⇒ 県芸術祭の補助金については、社会状況の変化を鑑み、R6からコロナ拡大防止経費を廃止したが、同額を物価高騰対策費用として措置している。引き続き、県民に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。

Ⅱ 文化の振興

1 課題

- ・優れた創作活動に対する効果的な支援。
- ・伝統文化団体への発表の場の提供や魅力発信。

2 施策

(1) 芸術の振興【9事業・再掲1】

- 県民文化センター管理委託(P13)
県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進。

(2) 伝統文化の継承及び発展【1事業・再掲2】

- 伝統文化総合支援事業(P16)
伝統文化の保存継承に取り組む団体への発表機会提供等。

(3) 生活文化等の振興【1事業・再掲2】

- 「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業(P17)
県産農林水産物を食べて応援する地産地消活動の推進。

(4) 文化を活用した地域づくり【1事業】

- アークスプロジェクト推進事業(P18)
公募によるアーティスト・イン・レジデンス等

(5) 文化交流の推進【5事業・再掲1】

- 語学指導等を行う外国青年招致事業 (P20)
外国青年を学校や自治体に配置し、地域の国際交流を推進。

3 主要KPI

①県民文化センターの利用者数 (単位:万人) 「期待した成果を下回っている」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34	35		
達成率	—	85.0%	58.3%		

②伝統文化団体への発表機会提供 (単位:団体) 「概ね期待通りの成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	15	30	35	40
実績値	11	24	28		
達成率	—	160.0%	93.3%		

4 評価等

①については、利用者への情報提供や営業活動により前年度を上回ったが、他館への催事の移行等の影響により施設全体の利用者数の伸びが鈍化した。②については、イベントへの出演機会の提供や、小学校での伝統文化体験会等の実施により、目標達成度は期待通りの成果となった。

⇒ 県民文化センターは、今後も本県の文化振興の拠点としての役割が期待されることから、指定管理者とともに施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図る。また、伝統文化団体への発表機会提供については、催事主催者に県内で活動する団体の情報を提供し、催事出演を促進するほか、子ども伝統文化フェスティバルの出演団体数を増やし、より多くの団体に対し発表機会を提供する。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 課題

- ・伝統的な文化財の適切な保存・公開・活用。
- ・公共の建物等の建築の際の文化的な特性への配慮。

2 施策

(1) 文化的資産の活用【再掲1事業】

○フィルムコミッション推進事業(P16)

ロケ誘致やロケ支援、ロケツーリズムの推進等。

(2) 文化財の保存等【3事業】

○国・県指定文化財の管理・修理・防災・保存及び公開に対する助成や、埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習等の実施。(P23～)

(3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮【1事業】

○景観形成条例施行事務(P24)

公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促進。

3 主要KPI

KPIの設定なし。

4 評価等

・主要事業において、KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助等の実施や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

⇒ 引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村等とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 課題

- ・県民が文化への関心を高め、文化活動に触れられる機会の提供。

2 施策

(1) 県民の文化活動の充実【5事業・再掲4】

- 現代茨城作家美術展（隔年）(P27)

本県を代表する作家の優れた美術作品の展示。

- 移動展覧会(P27)

県美術展覧会に属する作家の作品を県内各所で展示。

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実【4事業・再掲1】

- 元気シニア地域貢献事業(P28)

高齢者の知識や経験を地域に還元する人材バンクを創設。

- ナイスハートふれあいフェスティバル(P29)

障害のある幼児や児童生徒による美術展や学習発表会。

(3) 青少年の文化活動の充実【再掲2事業】

- 県高等学校総合文化祭の開催(P10)

高校生による美術、音楽及び演劇の展示や発表。

3 主要KPI

①現代茨城作家美術展の入場者数（単位：人） ↑ 「概ね期待通りの成果」

	2019(基準) R1	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	—	8,800	—	10,000
実績値	8,276	—	8,515	—	—
達成率	—	—	96.8%	—	—

②移動展覧会の参加者数（単位：人） ↑ 「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	4,000	5,000	5,500	6,000
実績値	3,198	4,821	7,880	—	—
達成率	—	120.5%	157.6%	—	—

③(再掲)関連事業の参加者数 106.1% ↑ 「期待以上の成果」

4 評価等

①については、入場者数がコロナ前（R1）を上回る8,515人となった。また、②においては、入場者数およびギャラリートークのYouTube配信閲覧数とともに、R4を大きく上回った。配信により、会場に来られない県民に対しても、広く美術鑑賞の機会を提供できた。

⇒ 若者や高齢者、障害者、県内在住の外国人など、誰もが本格的な文化芸術に身近に触れ合い、参加・創造する機会を提供していくため、文化施設や学校、芸術系教育機関のほか、高齢者団体、障害者団体、国際交流団体などを所管する関連団体とも連携しながら事業を実施していく。

V 文化活動の支援体制の充実

1 課題

- ・情報が多くの県民等に届くよう発信方法に工夫が必要。
- ・文化施設の老朽化対策を進めながら施設の機能を向上。

2 施策

(1) 文化情報の収集及び提供【10事業】

○広報紙の発行、ラジオ・新聞・インターネットによる広報。(P31～)

(2) 推進体制の整備【2事業・再掲1】

○文化審議会の開催や関連団体への助成等。(P35)

(3) 文化施設の機能の充実【13事業・再掲12】

○県民文化センターやアクアワールド茨城県大洗水族館の施設整備。(P35～)

(4) 地域における文化活動の支援【1事業・再掲4】

○助成金の案内やとりまとめ等(P44)

(5) 財政上の措置【1事業】(P44)

(6) 顕彰【2事業】(P45)

3 主要KPI

①各種媒体を通じた文化情報の発信件数(単位:件) ↑「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	290	360	430	500
実績値	212	291	478		
達成率	—	100.3%	132.8%		

②(再掲)県民文化センターの利用者数 58.3% ↓「期待した成果を下回っている」

③アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位:万人) ↑「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	110	120	120	120
実績値	65	120	121		
達成率	—	109.1%	100.8%		

4 評価等

・①については、ホームページやSNS等の活用により、目標達成度は期待以上の成果となった。また③については、当館歴代3位の入場者数となった。

⇒ ホームページやSNSでの情報発信により、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。文化センターについては、施設の利便性向上や老朽化対策により、利用者に安全・安心で快適な空間を提供する。大洗水族館については、サメの飼育数日本一や日本初のシロワニの繁殖に成功した水族館として確立するとともに、今まで以上に新たな挑戦を図り、県民から愛され親しまれる施設運営と事業展開に努める。